

2010年 7月号 わかさ

歯周病・虫歯・入れ歯のすこい発見! 1冊とこと大特集

わかさ

2010
7
500円

金曜刊
500円
1冊500円

歯の激痛歯周病も虫歯も
歯の延びし術

★歯磨きで歯の弱い歯周病体質が改善! 歯周病の予防は玄米菜食
★あなたの歯磨きのクセが虫歯の原因! 歯肉炎の予防はスロー歯磨き
★歯磨き粉の多用は害! 歯磨き粉の正しい使い方
★80歳以上! 歯周病の激痛や腫れを止める虫歯も治る! 歯周病の予防は歯グキ固め



あなたの歯の治療費の目安一覧表

★歯根が露出して歯ぐきやせは歯ぐきの炎症を招き歯ぐきの腫れや痛みを招く
★痛くない! 歯の寿命も長い! 虫歯の無痛療法
★突然の歯痛のつらいとき! 歯の痛みを止めるツボ
★硬い物もかみやす! つけ心地抜群! 入れ歯の新タイプ
★歯周病の90%が「歯周病の予防」で改善! 正しい新療法

488医院の
リスト

減食が3%・5%の減食が10%
ワサビ系ダイエットが人気

歯の健康を促す!
歯の健康を促す!
歯の健康を促す!

プラセンタ食品を三カ月補った ら歯周病による歯肉のはれ・ 出血が消え、歯グキやせも改善

熊倉正和

●長年悩んだ歯周病が ●三カ月で治った

四十代後半から他院で重度の歯周病の治療を受けてきた五十二歳の女性の患者さんは、よくなったり悪くなったりをくり返していたため、三年前に当院を訪れました。当時の症状は、歯グキからの出血が止まらず、はれと痛みが続き、歯周病による歯肉の退縮（歯グキやせ）も見られました。

診察をしてみると、歯垢（プラーク）や歯石（フライク）が石のように固まり歯根に付着したものの、はほとんどなく、歯もよく磨けていて、特に問題はありませんでした。この患者さんの話をよく聞いたところ、仕事や人間関係で過度のストレスがあり、ホルモンバランスをくずしていることが原因と考えられました。

当然、免疫力（病原体から体を守る力）の低下も考えられた



通常の治療とプラセンタで歯周病が治った

ので、私は、通常の歯周病の治療後に、プラセンタの栄養補助食品をすすめました。プラセンタには、免疫力強化作用や抗炎症作用、創傷回復促進作用のあることを説明し、飲んでもらったのです。

すると、三カ月後に定期検診で来院したときには、歯グキのはれや出血はなくなり、歯周病がきれいになっていたので、短期間で効果があつたことに、歯周病に長年悩まされた患者さん自身が一番驚いたようです。

それから二年近くプラセンタの粒食料を飲んでいてこの女性も、歯周病の再発はなく、歯グキやせも明らかに回復している所見が得られています。

●プラセンタ注射で ●歯のグラつきが治った

次は、中等度の歯周病で歯グキの炎症だけでなく、歯のグラつきもあつた五十二歳の男性の例を紹介しましょう。



この患者さんの場合には、通常の歯周病治療に加えて、三カ月ほど歯肉にプラセンタを注射しました。その期間はさほど変化は見られませんでした。半年後に診察したところ、歯グキの炎症がすっかり治まっただけではなく、驚いたことに歯のグラつきもなくなっていました。

歯のグラつきがなくなつたのは、もちろん歯を支える歯肉の状態がよくなくなったことがありますが、プラセンタの薬理作用によつて、歯を支える骨ができた可能性も考えられます。

実際、骨が〇・五ミリでもできれば、それだけで歯のグラつきが止まることもあるからです。当初は、歯周病による歯肉退縮も見られましたが、歯周病が順調に改善したことによつて、歯肉退縮の状態にも、回復が見られています。

熊倉正和先生

重度の歯グキやせには胎盤エキスを 「プラセンタ」が効き、歯周病が 改善し歯グキが再生すると話題

熊倉歯科院長
くまぐらまさかず
熊倉正和

●歯周病の改善に 大変有効

私は長年、歯科医として多くの患者さんの歯の治療を行ってきました。かつては虫歯の患者さんの治療が中心でしたが、最近では歯周病の患者さんが目立つようになりました。

そして、そんな患者さんの中には、歯グキが後退して歯根が見えてしまう歯グキやせ（歯肉退縮）の症状のある人も多く見られます。この原因の一つに、歯周病によって歯槽骨（歯が埋め込まれている土台となる骨）が破壊されて骨が溶けてしまったために、それに伴って歯肉が支えを失ったことが考えられます。

また、歯周病の患者さんの中には、歯垢（プラーク）や歯石（タール）が石のように固まり歯根に付着したもの（をきれいに除去し、三度の食後には必ず歯

磨きをしているにもかかわらず、なかなか歯周病の治らないという人もいます。

歯周病が治りにくい原因としては、免疫力（病原体から体を守る力）の低下や強いストレス、あるいはホルモンバランスの乱れなど歯周病以外の要素が考えられます。

そのような歯周病の患者さんに「プラセンタ」製剤の注射を行うと、歯グキの炎症が消えたり、やせた歯グキが回復したりして、歯周病の改善するケースが多く見られるのです。

実は、プラセンタが歯周病の改善に役立つことは、今から四〇年以上も前に、日本大学歯学部の研究グループが行った試験によって確認されています。研究グループは、六〇人の歯周病の患者さんに対してプラセンタ注射を行ったところ、歯周病が明らかに改善したと報告しています。

●歯グキの修復も 促す有効成分の宝庫

プラセンタとは、哺乳動物の「胎盤」を意味し、一般に人間やブタの胎盤から抽出されたエキスのことをいいます。ちなみに、人間の胎盤エキスは注射薬、ブタの胎盤エキスは内服薬や栄養補助食品、化粧品に利用されています。

胎盤は、人間の場合でいえば

プラセンタとは

プラセンタとは、人間や哺乳動物の胎盤から抽出されたエキスを、人間の胎盤エキスは注射薬、主にブタの胎盤エキスは栄養補助食品に利用されている。

胎盤には、たんぱく質・脂質・糖質の三大栄養素をはじめ、十数種類のアミノ酸や多種のビタミンやミネラル、100種類を超える酵素などのほか、多数の生理活性物質が含まれている。

歯科でプラセンタ注射を行う場合は、週に1～2回、1回につき2アンプル（1アンプルは2回）行うのが基本で、費用は自費で1回につき2,000～3,000円が目安（ほかに初診料・検査料などが必要）となる。



○「一」しかない一つの受精卵を、約一〇カ月後には大人とは同じ約六〇兆個の細胞を持ち、複雑な生体機能を備えた三〇もの胎児に育て上げます。胎盤の働きは、胎児に酸素と栄養を供給するだけでなく、肺・肝臓・腎臓の働きを助たり、ホルモンを作ったり、免疫力を強化したりと多様なため、胎児にとつての「万能の臓器」といわれています。

胎盤に含まれている成分には、たんぱく質・脂質・糖質の三大栄養素をはじめ、ロイシン、リジンなどの必須アミノ酸（体内で合成できないたんぱく質の構成成分）のほか、グリシン、アラニンなど、十数種類の

プラセンタの20の薬理作用

- ①基礎代謝向上作用
- ②細胞活性化作用
- ③呼吸促進作用
- ④血行促進作用
- ⑤造血作用
- ⑥疲労回復作用
- ⑦血圧調節作用
- ⑧自律神経調節作用
- ⑨ホルモン調整作用
- ⑩免疫強化作用
- ⑪活性酸素除去作用
- ⑫抗突然変異作用
- ⑬創傷回復促進作用
- ⑭抗炎症作用
- ⑮抗アレルギー作用
- ⑯体質改善作用
- ⑰強肝・解毒作用
- ⑱妊婦の乳汁分泌作用
- ⑲食欲増進作用
- ⑳精神安定作用



●プラセンタが歯周病に効くしくみ
歯周病や歯グキやせに対して、プラセンタが効果を上げるのは、傷の回復を早めたり、炎症を抑えたりする作用に加え、自律神経の働きやホルモンバランスを整える薬理作用が、総合的に働くためと考えられる。

アミノ酸があります。さらに、多種のビタミンやミネラル(無機栄養素)が豊富なうえに、一〇〇種類を超える酵素(体内の化学反応を助ける物質)も含まれています。それに加えて、心身の正常な働きに欠かせない生理活性物質も多数含まれていることがわかっています。そのため、胎盤には二〇もの薬理作用が確認されているのです(左の表を参照)。

また、このほかにも、再生医療の分野で注目されている成長因子が含まれています。成長因子とは、細胞の増殖を促して、傷んだ組織の修復を担う物質のことです。HGF(肝細胞増殖因子)やPDGF(血小板由来増殖因子)などの種類があります。このうち、米國ではすでに、合成したPDGFを用いた製剤が歯周病の治療に使われ、破壊された歯槽骨の再生に役立てられています。日本でも使用しているところはありますが、非常に高価なため、それほど普及していないのが現状です。

その点、私はプラセンタに期待をしています。プラセンタには、炎症を抑える効果や傷を修復する効果があり、さらに自律神経の働きやホルモンバランスを整えたり、免疫力をアップさせたりする作用もあるため、歯周病にも非常によく効くと考え

られるのです。

●●●歯肉の炎症を抑え 歯槽骨の修復も促す

歯周病治療では、歯磨きなどで、歯周病菌を除去し、口内環境をよくしておくことが肝心です。そのうえでプラセンタ注射を行うと、歯周病の改善効果がより高まることを私は日々経験しています。

例えば、歯周病で歯グキが炎症を起こしてはれている場合にプラセンタを注射すると、わずか一回で炎症が治え、痛みもなくなるケースが見られます。歯グキの炎症が治え、歯周組織が回復してくると、やせた歯グキ

や歯槽骨まで修復され、グラッていた歯もしつかりとしてきます。

また、歯肉を切開して歯石を除去すると、歯肉は大きく傷つきます。しかし、切開後にプラセンタを注射した患者さんの多くが、一週間後には傷跡がきれいに修復されています。

歯周病の治療にプラセンタを使う場合、歯グキに注射を行うほうが効果的かもしれません。しかし、患者さんの痛みが大きすぎるので、私は、上腕への筋肉注射を行っています。

プラセンタ注射は、週に一、二回(一回につき二アンプル、一アンプルは二cc)行うのを基本としています。費用は自費で一回につき二〇〇〇〜三〇〇〇円が目安ですが、ほかに初診料・検査料などが必要となります。

なお、遠方から訪れる患者さんの中には、通院が困難な人もいます。そのような人には、プラセンタの栄養補助食品(粒食やドリンク)の利用をすすめています。そうした食品の利用でも、歯周病が治まり、歯グキやせも改善する例が多数見られます。